

令和 8 年の修二会とお松明等の拝観方法について

東 大 寺

当寺二月堂の修二会にお心を寄せ、支えていただいている皆様にあつく御礼申し上げます。
本年の拝観につきましてお知らせいたします。

二月堂はご本尊との結縁のため、いにしえより幾多の方々が連綿と祈りを捧げてこられた場です。行法を取り巻く環境や雰囲気が増えれば、現在の形で伝統を次代へ繋いでいくことも難しくなり、お松明拝観の受け入れも困難となりかねません。皆様にはご参拝にあたり、お互いが利他の精神で譲りあい、お参りいただければ幸いです。

安全かつ行法にふさわしい環境の確保に取り組むため、それぞれのエリア(場所)での規制開始以後のご入場は固くお断りいたします。また、行法を円滑に進めるため、当日現場での指示に従ってください。

皆様のご理解とお力添えを賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

《二月堂周辺での立入禁止エリアについて》

皆様の立ち入りを禁止するエリアを設けます【2 月 28 日～3 月 15 日】

- 二月堂北登廊の麓に位置する参籠宿所や湯屋など、参籠衆が起居するエリアは面会謝絶につき立入禁止。ただし、登廊は規制時以外は通行可。
- 3 月 1 日～14 日のお松明中と前後の時間帯は、規制のため二月堂に近づけません。
⇒別紙ご参照

《修二会お松明及び堂内での拝観について》

3 月 12 日を除く 1 日～14 日

- お松明は基本にご覧いただけますが、二月堂下芝生(竹柵内)や広場の人数が一定以上になれば、以後お越しの方は第2拝観所へ誘導します。第2拝観所も同様になれば、以後はお松明をご覧いただくことが出来ません。
- 二月堂下芝生(竹柵内)や広場の収容人数は安全対策の観点から人数を算定し、当日の天候や現地の状況等を踏まえて決定します。規制後の入場は固くお断りします。
- 予約や場所取りは出来ません。
- 局(つぼね)での聴聞は可能ですが、満席になる場合があります。私語は慎んでください。また、マスクの着用を推奨します。
- 国宝の建物や周囲の歴史ある景観の構造上、拝観・聴聞の場所には限りがございます。譲り合っていただくようお願いいたします。収容人数の観点から、二月堂へは入堂できない可能性があります。

3月12日

- 伝統的に、12日は二月堂の信者組織である講社の参詣日です。
- 聴聞においては講社ごとに局の割り振りも定まっており、一般参拝の方は局に入ることは出来ません。ご了承ください。
- お松明拝観については、①(お松明後に局で聴聞される)講社等のリボン所持者のエリアと、②広場での一般のお松明拝観者のエリア(順次移動しながら極めて短時間の松明拝観となります)に分かれてご覧いただきます。12日の特殊性をご理解ください。他日をお勧めします。
- 第2拝観所が満員になれば、以後はお松明をご覧いただくことが出来ません。
- 安全のため、規制後の入場は固くお断りします。
- 寒い時期の夜間行事であり、おみ足や体力に不安のある方はもとより、普段お元気な方でも不自由や危険な点が多いため、そのことを充分にご考慮いただき、ご参拝の可否をご判断ください。

《二月堂内で守っていただきたいこと》

⇒別紙ご参照

※今後も諸々の状況により、告知させていただいた内容に追加や変更が生じる可能性があります。その場合は東大寺の公式サイトで逐次告知いたしますので、適宜ご確認ください。

修二会全般について⇒ <https://www.todaiji.or.jp/annual/event/shunie/>

